

ネットワークビデオレコーダー

KB-IRIP04A / KB-IRIP08A / KB-IRIP16A

取扱説明書 - 設置編 -



お客様へ

このたびは当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
また、お読みになった後は、いつでも確認できるように場所を定めて保管してください。

本書について

本書は、本機の設置に関する注意事項と初回起動時に必要な設定手順を記載しています。
本機の詳細な設定や操作については、同梱品の USB メモリー内の取扱説明書をご覧ください。
また、弊社 HP からでも取扱説明書をダウンロードすることができます。
HP : <https://www.kbdevice.com/product/KB-IRIP04A/>
右図の QR コード(本機製品ページ)からアクセスできます。



ライブ・再生・バックアップの操作については、同梱品の簡易取扱説明書を
詳細な設定については、取扱説明書をご覧ください。

株式会社 ケービデバイス

安全にご使用いただくために

- 本機をご使用になる前に、必ず本書をよくお読みになり正しくお使いください。
- ここに記載している注意事項は、安全に関する重大な内容となりますので、必ずお守りください。
- 本書は必ず保管し、使用上不明な点等がある場合には再読し、ご確認ください。
- 本機の仕様範囲を超える条件において使用された場合については、動作は保証しかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は、宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないでください。
- 本機は防犯カメラと組み合わせて使用することで、犯罪の抑止と犯罪行為の証拠の記録を行うものであり、それ自体で犯罪を未然に防ぐものではありません。

【 表示および図記号について 】

本書では機器を安全に正しくご使用いただくために、さまざまな表示をしています。

内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

注意	禁止記号			強制指示記号		
						
一般注意	禁止	接触禁止	分解禁止	強制	電源プラグを抜いてください	アース接続をしてください



警告

正しくご使用いただけない場合、死亡もしくは重傷につながる恐れがあります。

● 水に濡らさない



火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所や水が本機内部に浸水する可能性がある場所への設置・据付はお止めください。

● 指定の電源電圧を超えない



表示された電源電圧を超える電圧を加えないでください。
火災および感電の恐れがあります。

● アースを接続する



電源コードは、AC100V(50/60Hz)のアース付きコンセントを使用し、必ずアース接続を行ってください。アース接続をしない場合、漏電時や落雷により火災および感電、機器の故障につながる恐れがあります。

● 使用中に異常が発生したとき



以下の場合、直ちに電源を切り、電源コードを抜いて販売店にご相談ください。

- 本機から煙や異臭または異音が発生した場合。
- 本機内部に液体や異物が混入した場合。
- 落下などにより本機または電源コードが損傷・断線した場合。

● 液体や金属片を上には置かない、挿入しない



本機の上に、液体の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したりしないでください。本機内に液体や金属が入ると、火災および感電の恐れがあります。

● 電源コードや配線を傷つけない



電源コードが損傷すると断線し、火災および感電の恐れがあります。以下をお守りください。

- 電源コードの上に重いものを置かない。
- 電源コードや配線に切れ目を入れる、折り曲げる、ねじる、引っ張る、熱する等をしない。

● 分解、改造をしない



本機を分解・改造しないでください。感電や火災の原因になります。

メンテナンスや検査が必要な場合には、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。

● 落雷時は触れない



落雷があったときは、本機や電源コードに触れないでください。感電の恐れがあります。

落雷により異常が発生した場合は販売店にご相談ください。



注意

正しくご使用いただけない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● 誤作動の原因となる場所に設置しない



以下のような場所でのご使用は、誤作動や故障、火災の原因となりますのでお止めください。

- 湿気やほこりが多いところ
- 水平でない場所や振動の激しい場所
- エアコンの前のように温度が急激に変動するところ
- 強い直射日光が当たるところや発熱体の近くなど、温度が高くなる場所
- 密閉させた狭い場所や温度調整機能のない密閉型ハウジングの中
- 引火性溶剤(アルコールやシンナー等)が近くにある場所
- 潮風の当たるところ、温泉地、腐食性ガスの発生する場所
- 電波や磁力が発生している場所(無線受信機や配電盤の近く等)

● 雷サージ対策を行う



本機は、落雷による直撃雷、誘導雷、逆流雷等の影響を受ける可能性があり、誤動作や故障の原因となります。

アース接続や雷サージ用電源タップ等を使用することで、雷サージによる影響を軽減できるため必ず雷サージ対策を行ってください。

● 外部接続のときは外部装置の電源を切る



本機に外部装置をつなげる場合は、外部装置の電源が切れていることを確認してから接続してください。

本機およびカメラからの過電流による感電や故障の恐れがあります。

● 定期的に掃除を行う



内部の清掃については、販売店にご相談ください。

内部にほこりやゴミなどがたまったまま放置すると故障や火災の原因となります。

● 法規に準拠した廃棄を



本機が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄してください。

● 通風口を塞がない



通風口を塞ぐと本機内部に熱がこもり、火災の原因となります。

また、通風口にほこりがたまらないように定期的に掃除してください。



注意

正しくご使用いただけない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● 濡れた手で触れない



濡れた手で本機および電源プラグには触れないでください。

感電の恐れがあります。

● 製品に異物がついたとき



製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いてください。

化学薬品やエアゾール等で本機のクリーニングはしないでください。

本機の誤作動や感電の恐れがあります。

● 磁気を帯びたものを置かない



クレジットカード、テレフォンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに

置かないでください。

● 静電気に注意



静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。本機の各パネルおよび

リアパネルの各電子部品に触る前には、体内の静電気を除去してください。

● コードを置いたままにしない



電源コード、その他のケーブルを通路に置いたままにしないでください。

通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。

使用上のご注意

- 仕様の動作温度、湿度の範囲外の環境で本機を使用しないでください。
- 排熱のため、通風口の周りは10cm以上のスペースを確保してください。
- 通風口にほこりがたまった場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、通風口の掃除をしてください。通風口の掃除は年1回程度を目安に行ってください。
- 強力な磁界や電界がある場所に設置しないでください。映像が乱れたり機器が故障したりする恐れがあります。
- 電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、適切に動作しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するようにしてください。
- **本機は、停電に備えて設計されていますが、停電によりHDDが損傷を受ける可能性があります。その場合、使用中のデータ損傷や、記録ができなくなることがあるため、無停電電源装置(UPS)を使用することを推奨します。**
- 本機はビデオデータをHDDに録画する設計ですので、HDDのエラーまたはその他のエラーにより、製品が正常的に録画できない場合があります。製品の適切な運転のためには、定期的なメンテナンスが必要です。
- 本機は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動につながる場合があります。
- 本機は外部機器(カメラ、センサー、USB装置、LAN、HDDなど)と接続して使用しているため、外部要因による誤作動の恐れがあります。安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。
- 本機は水平位置で使用するように設計されています。垂直や傾けての使用はできません。
- HDDが故障した場合、当社では記録したデータの復旧はできません。データ損失を避けるため、定期的にバックアップすることを強く推奨します。
- 本機で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合がありますので「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることを推奨します。
- 本機は精密機器です。振動や強い衝撃を与えないでください。火災や感電、本機の破損につながります。
- 本機で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合があります。「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることを推奨します。
- 運送時の落下、振動によって発生した機器の破損についての責任を当社は負うことができません。あらかじめご了承ください。
- インターネットへの接続について本機は電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LAN含む)に直接接続することができません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

使用上のご注意

- 次の部品は消耗品です。下記寿命時間を目安に交換してください。

ただし、この時間はあくまで目安であり、部品の寿命時間を保証するものではありません。

- HDD : 約 30000 時間 (使用環境温度 25°C)
- 時計用ボタン電池 : 約 40000 時間 (使用環境温度 25°C)
- ファン : 約 70000 時間 (使用環境温度 25°C)

※この時間はあくまで目安であり、各部品の寿命時間を保証するものではありません。

特にHDDの寿命は、使用環境により異なりますが、通電時間が20000時間を越えると、書込みエラーが発生しやすくなり、30000時間を越えると、モーター部の劣化などにより寿命となります。(25°Cで使用時)
録画データ保護のためにも、本機の周辺温度を25°C程度に保ち、18000時間を目安に交換することを推奨します。

長期間ご使用の際は、あらかじめ販売店にメンテナンスのご相談をお勧め致します。

- 本機に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。
(ハードウェア、ソフトウェア、文書等)

同梱品一覧

以下のものが入っているかをご確認ください。

レコーダー本機 x1



マウス x1



リモコン x1 /
テスト用電池 1.5V x2



USB メモリー x1
(取扱説明書など)
※録画データのバックアップにも
ご利用いただけます。



簡易取扱説明書 x1
クイックスタートガイド x1



電源ケーブル x1
(KB-IRIP04A のみ)



AC アダプター x1



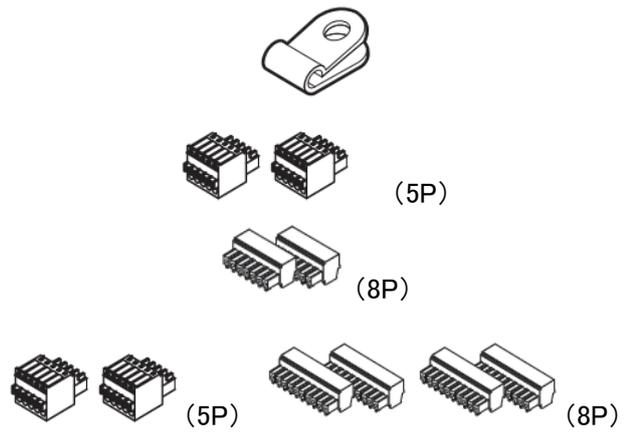
ケーブルクリップ x1
(KB-IRIP04A のみ)

端子ブロック

KB-IRIP04A : 5P x2

KB-IRIP08A : 8P x2

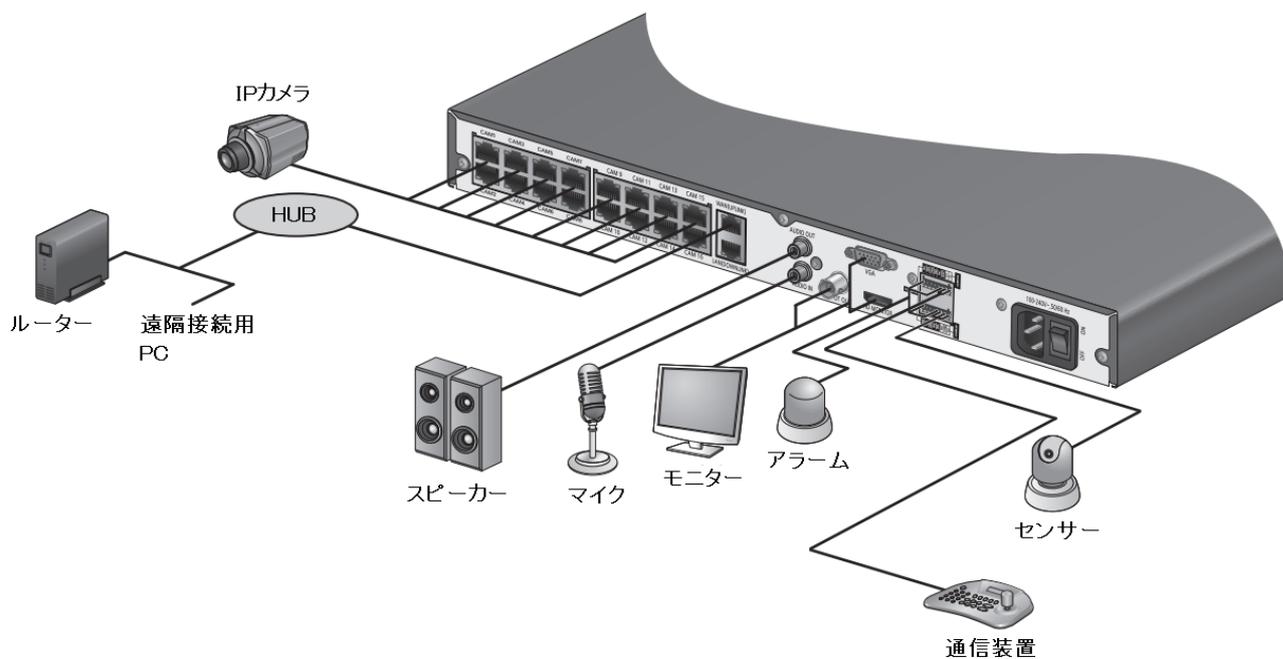
KB-IRIP16A : 5P x2 / 8P x2



各種機器を接続する

本機には、カメラやモニターをはじめマイク、アラーム機器などさまざまな機器を接続できます。

【 各種接続の全体イメージ 】



本書では、下記項目の接続について記載しています。

- モニター
- 電源コード
- IP カメラ

上記以外の機器の接続箇所や方法については、取扱説明書「1.5 各種機器を接続する(p.24)」をご覧ください。

各種機器を接続する(つづき)

● モニターを接続する

メインモニターへの接続は HDMI または VGA 端子ケーブルを使用してください。

本機は、HDMI と VGA の同時出力が可能です。

メインモニターの画面では、ライブ画面や検索・再生、本機の各種設定が操作可能です。

<< 注意 >>

メインモニターは必ず下記のいずれかの入力解像度に対応したモニターをご使用ください。

- 3840 x 2160 (QFHD(4K)) ※HDMI のみ出力可能です。
- 2560 x 1440 (WQHD) ※HDMI のみ出力可能です。
- 1920 x 1080 (FullHD)
- 1280 x 1024 (SXGA)
- 1280 x 720 (720p)

上記のいずれにも対応していないモニターは使用できません。

モニターを接続し、本機を起動することで自動的に最適な解像度で映像を表示します。

対応モニターであっても正常に表示されない場合は、本機設定にて手動で解像度を設定してください。

解像度の設定については、取扱説明書「3.2.2 画面切替え時間/モニター出力解像度を設定する(p.3-22)」をご覧ください。

各種機器を接続する(つづき)

● 電源コードを接続する

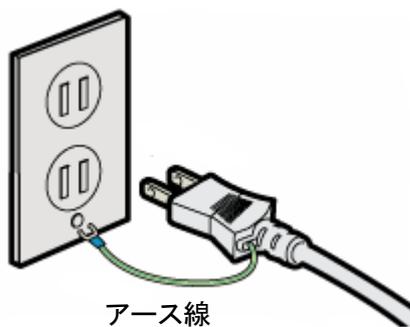
本機に AC アダプターを以下のように接続してください。

電源コード接続後は、自動的に起動シーケンスに移行します。

<< 注意 >>

下記事項は必ずお守りください。

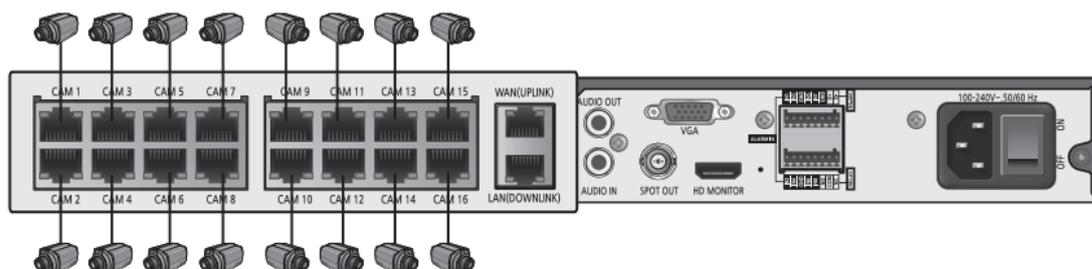
- 電源コードおよび AC アダプターは必ず同梱品のものをご使用ください。
- 電源を投入する前に必ずアース接地工事または、アース接続を行ってください。
落雷や静電気などにより本機が故障するリスクを低減できます。
- アース線は、同梱品の電源ケーブルについているアース線(緑色)をご利用ください。



各種機器を接続する(つづき)

● IP カメラを接続する

本機は、PoEHUB を内蔵しているため、IP カメラを背面の CAM1～CAM16 端子に接続することでカメラに電源を供給することができます。



IP カメラを使用する場合はカメラタイプ設定の変更・カメラアドレスの登録が必要となります。詳しい設定方法については、取扱説明書「3.1.1 IP カメラを登録する(p.65)」をご覧ください。

<< 注意 >>

LAN ケーブルは必ずシールド付きのケーブル(STP・FTP ケーブル)を使用し、本機もアース接続を行ったうえで運用してください。電氣的ノイズにより機器の動作不良や故障につながる恐れがあります。

本機の 1 つの映像入力端子(IP CAM / PoE)に対して 2 台以上のネットワークカメラを接続しないでください。

外部 HUB 経由でカメラを複数台入力する場合は、WAN ポートに接続してください。

初回起動時の設定をする

本機は、初回起動時にログインパスワードやネットワーク情報を設定する必要があります。
以下の手順にしたがって、本機を起動しパスワードを設定してください。

<< 注意 >>

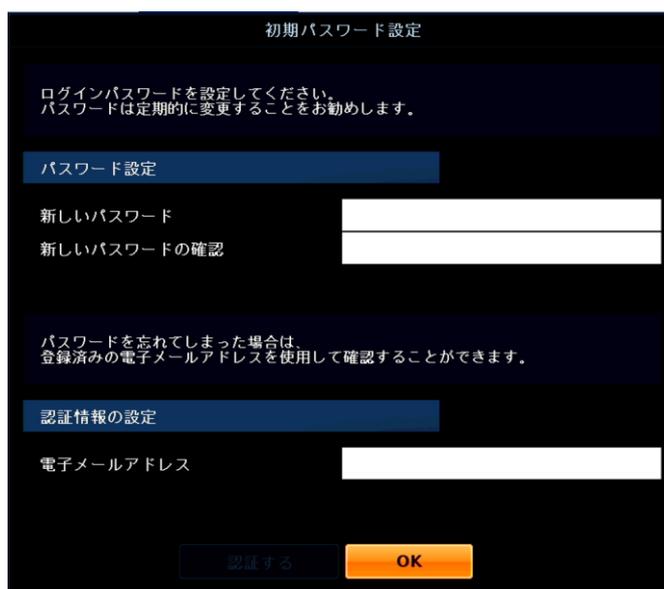
下記事項を必ずお守りください。

- パスワードは定期的に変更し、設定した値はメモをとるなど忘れないように管理をしてください。
※パスワードの変更については、取扱説明書「3.4.3 パスワードを変更する(p.107)」をご覧ください。

1. 本機背面に電源ケーブルを差し込みます。
接続については、p.12 をご覧ください。
2. ビープ音が鳴り、前面の LED が点灯します。
数秒後にロゴ画面が表示されます。



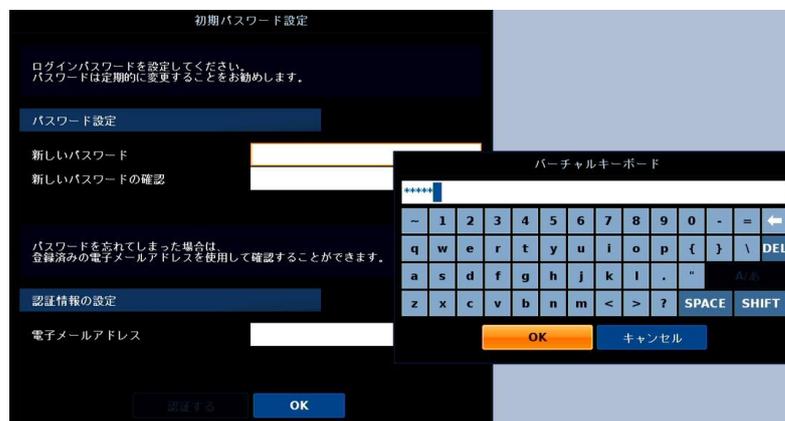
3. 起動プロセスが完了すると、初期パスワード設定画面が表示されます。

A screenshot of the initial password setting screen. The title is '初期パスワード設定'. The screen is dark blue with white text. It contains the following elements:

- Text: ログインパスワードを設定してください。パスワードは定期的に変更することをお勧めします。
- Section header: パスワード設定
- Input fields: 新しいパスワード and 新しいパスワードの確認
- Text: パスワードを忘れてしまった場合は、登録済みの電子メールアドレスを使用して確認することができます。
- Section header: 認証情報の設定
- Input field: 電子メールアドレス
- Buttons: 認証する and OK

初回起動時の設定をする(つづき)

- 「新しいパスワード」欄をダブルクリックし、パスワードを設定します。
バーチャルキーボードで入力後、「OK」をクリックしてください。
設定したパスワードは、メモをとるなどし忘れないように管理してください。



<< 注意 >>

パスワードを設定する際は、下記をお守りください。

- 「1234」は初期パスワードとして設定することはできません。
- 第3者から容易に推測される数字や文字はさけてください。
- パスワードは最大8文字まで入力できます。

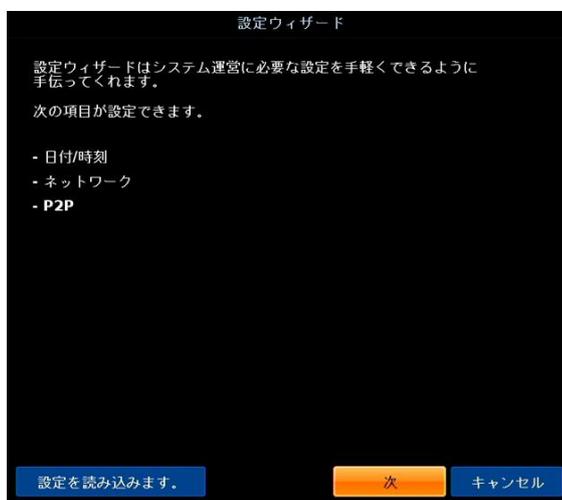
- 「新しいパスワードの確認」欄に同じ値を入力します。
入力間違いにご注意ください。
- 「認証情報の設定」欄にパスワードを忘れた場合の確認用メールアドレスを入力します。
- パスワード設定後、「OK」をクリックします。



初回起動時の設定をする(つづき)

このページ以降の設定ウィザードは、後からでも設定・変更ができます。

「キャンセル」をクリックすると、初回起動時の設定は完了し、ログイン画面に移行します。



ネットワーク設定ウィザード以降の設定は、後からでも設定・変更ができます。

「キャンセル」をクリックすると、初回起動時の設定は完了し、ログイン画面に移行します。

ログイン手順については、取扱説明書「1.7.1 ログインする(p.43)」をご覧ください。

また、後からネットワーク設定を行う場合は、取扱説明書「3.5 ネットワーク(p.110)」をご覧ください。

8. 本機の時刻を設定し、「次へ」をクリックします。

タイムゾーン・サマータイムは、初期設定値から変更しないでください。

日付/時刻 … 時計アイコンをクリックして本機の日時を調整できます。

日付表示形式 … 日付の表示形式を変更できます。

時刻表示形式 … 時刻の表示形式を変更できます。



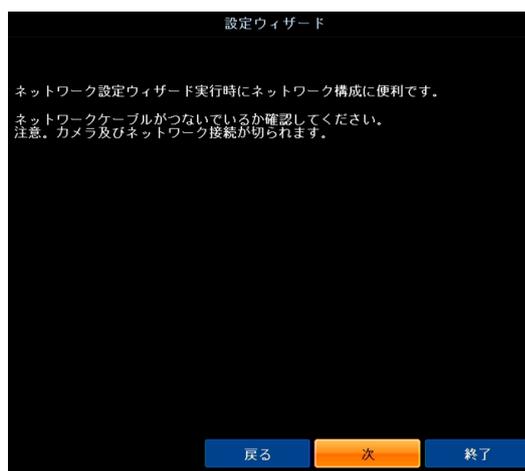
初回起動時の設定をする(つづき)

9. 続けて本機のネットワークアドレスを設定します。

IP アドレスなどを設定する場合は、「次へ」をクリックします。

※本機にルーターなどのネットワーク機器に接続している必要があります。

アドレス設定を行わない場合は、「終了」をクリックします。



10. 本機の IP アドレスを設定し、「次」をクリックします。

「DHCP」・・・ DHCP サーバーから自動的に各アドレス情報を受け取ります。

「固定 IP」・・・ 手動で本機の各アドレス情報を入力します。

同一ネットワーク内にある他機器の IP アドレスと重複しないようご注意ください。



初回起動時の設定をする(つづき)

11. ポート番号を設定し、「次」をクリックします。

同一ネットワーク内にある他機器のポート番号と重複しないようにご注意ください。

The screenshot shows the '設定ウィザード (3 / 5)' (Setup Wizard 3 / 5) screen. The title is 'サービスポート設定' (Service Port Setting). It contains two input fields: 'RTSPポート' (RTSP Port) with the value '5554' and 'WEBサーバーポート' (Web Server Port) with the value '8080'. Below these is a checkbox labeled '自動ポートフォワーディング使用' (Use automatic port forwarding) which is checked. At the bottom, there are three buttons: a help icon '?', a blue '戻る' (Back) button, an orange '次' (Next) button, and a blue '終了' (End) button.

お使いのルーターやモデムが自動ポートフォワーディング機能に対応していない場合は、「自動ポートフォワーディング使用」のチェックは外してください。

12. DDNS 機能を使用する場合は、「オン」をクリックしてください。

DDNS サーバーのご利用をはじめ、ネットワーク機能サービスを利用する際は、本機の情報提供に同意されたとみなされます。

※提供いただいた情報は、本機ネットワーク機能サービス向上のために使用されます。

The screenshot shows the 'ネットワーク設定ウィザード (3 / 4)' (Network Setting Wizard 3 / 4) screen. The title is 'DDNS設定' (DDNS Setting). It has two radio buttons: 'オフ' (Off) and 'オン' (On), with 'オン' selected. Below are several fields: 'DDNSサーバー' (DDNS Server) is a dropdown menu set to 'dvrlink.net'; 'ユーザー名' (Username) is empty; 'パスワード' (Password) is empty; 'レコーダー名' (Recorder Name) is '00116f000947'; and 'DVR接続アドレス' (DVR Connection Address) is '00116f000947.dvrlink...'. A text block explains that DDNS uses device information and that consent is required for service use. A checkbox '機器情報提供に同意します。' (I agree to provide device information) is checked. At the bottom, there are four buttons: a help icon '?', a blue '以前' (Previous) button, an orange '次' (Next) button, and a blue '終了' (End) button.

- DDNS サーバー … 「dvrlink.net」のみ選択してください。
- レコーダー名 … DDNS のドメイン名を入力します。
- DVR 接続アドレス … 本機の遠隔接続時のアドレスが表示されます。

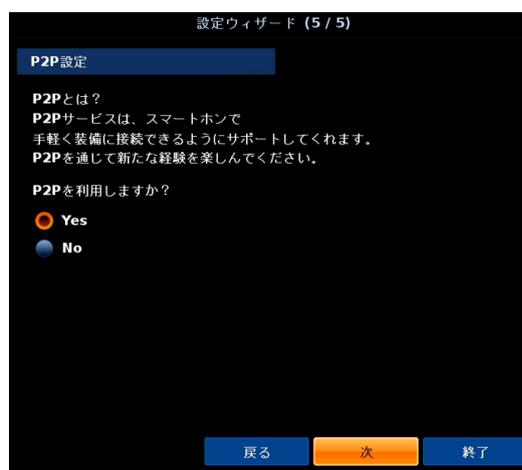
初回起動時の設定をする(つづき)

【DDNS サービスのご利用について(免責事項)】

DDNS サービスのご利用の際は下記内容に同意した上でご利用ください。

- DDNS サービスのご利用はお客様のもとでご利用ください。
- DDNS サービスを利用することにより発生した損害、または第三者に対して損害を与えた場合について弊社は一切の責任を負わないものとし、損害賠償する義務はないものとします。

13. P2P 設定画面にて「Yes」を選択し、「次」をクリックします。



P2P の使い方については、取扱説明書「8.1 スマートフォンからの遠隔接続(p.241)」をご覧ください

14. 設定完了後、「終了」をクリックします。

ライブ画面が表示されたら初回起動時の設定は完了です。



ログインする

初回起動時の設定完了後、ライブ画面に切り替わりログイン画面が表示されます。

以下の手順にしたがって、ログインしてください。

1. ログイン画面の表示後、ユーザーID を選択します。

初期設定時は、「ADMIN」のみ選択できます。



The screenshot shows a login interface titled "ログイン" (Login). It features a "ユーザーID" (User ID) dropdown menu currently displaying "ADMIN". Below it is a "パスワード" (Password) input field with a "お忘れですか?" (Forgot it?) link. A virtual keyboard is visible, and at the bottom, there are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

2. 選択したユーザーID に対応したパスワードを入力します。

パスワードは、p.15 にて設定した値となります。



This screenshot shows the same login interface as the previous one, but the "パスワード" (Password) field is now filled with asterisks (****). The "OK" button is highlighted in orange, indicating it is the next step.

3. 「OK」をクリックし、ライブ画面が表示されたらログイン成功です。

ライブ画面での操作や見方については、取扱説明書「2.1 ライブ画面での操作・見方(p.48)」をご覧ください。

「パスワードが正しくありません。」と表示された場合はパスワードの入力に間違いがないかご確認ください。

シャットダウンする

本機の電源を切る場合は、以下の手順にしたがってシャットダウンしてください。

1. ライブ画面にて、画面下部にカーソルを移動させ、ステータスバーを表示します。



2. 画面左下の「メニュー」>「シャットダウン」の順にクリックします。
リモコン操作の場合は、「電源」ボタンを押します。
3. キーボードの文字をクリックし、パスワードを入力します。
パスワード入力後は、「OK」をクリックしてください。



4. 本機からピープ音になったら、本機から AC アダプターを取り外します。
以上で操作完了です。

注意

シャットダウンは必ず上記の方法で行ってください。

システム動作中に電源コードを抜くなどの正常ではない方法で電源を切ると、データ消失やディスクの寿命短縮につながる恐れがあります。

計画停電などでシャットダウンを行う際は、必ず電源コードをコンセントから取り外してください。
また、復電させる際は、あらかじめ電源コードを本機に接続してから起動を行ってください。

保証書

品番		販売店名
シリアルナンバー(S/N)		
お買い上げ年月日		
保証期間	商品お買い上げ後 5 年間	
会社名		
ご住所		
ご担当者		
電話番号		

※お願い: お買い上げ時に必ずご記入ください。本書は大切に保存してください。再発行は致しません。

<保証規定>

1. 本保証は、持ち込みされた機器の修理サービスを提供するものであり、修理に係る費用(オンコール費、出張修理費、施工費)、修理期間の代替器対応をご提供するサービスではありません。但し、同時にメンテナンス契約を締結する際は、その限りではありません。

2. 不具合機器の取り外し、取付け、再設定等は別途費用が発生します。

3. 次の事由による損害の場合は、保証の対象にはなりません。

A 弊社窓口以外に修理を依頼された場合

B 修理に際し、保証書の提示がない場合

C 次に掲げる事由によって生じた本商品の故障または損傷

・不適切な使用(落下、衝撃、冠水、電池液漏れ等)、または維持、管理の不備によって生じた故障または損傷

・使用上の誤り(取扱説明書記載以外の使用)、または純正品以外の管理の不備によって生じた故障または損傷

・記録媒体の故障または損傷による保存データの損失などの損害。また、修理後に保存データが消去した場合などの損害

・地震・噴火・津波・地盤変動・地盤沈下・風害・水害・その他の天災ならびにガス害・塩害・公害および異常電圧

・火災・落雷・破裂・爆発または外部からの物体の落下・飛来・衝突もしくは倒壊等の偶然かつ外来の事由

D 取付場所の移動、落下等によって生じた本商品の故障または損傷

4. 保証期間について

A 機器販売のみの場合…機器発送日を保証開始日とします。

B 工事を含む場合…工事完了日を保証開始日とします。

<保証条件>

1. 次に該当する故障は保証期間であっても実費にて修理を申し受けます。

A 誤った取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故意・不注意による損傷に起因する故障

B 災害など不可抗力による損傷

C 本書上記項目に必要な事項の記入がない場合。また本書の提示がない場合

2. 消耗品(赤外線リモコン用電池、時計保持用ボタン電池)は、保証外です。

内蔵 HDD・CF カード・SSD およびファンの故障については、保証対象となります。

※映像データの保証はできません

3. 本製品の故障または損傷に起因して、他の財物(PC、ソフトウェアを含みます)に生じた故障もしくは損傷等の損害は保証の対象にはなりません。

4. 本製品の故障または損傷に起因して、他の財物が使用できなかったことによって生じた損害は保証の対象にはなりません。

5. 故障および損害の認定等について、弊社と使用者の間で見解の相違が生じた場合には、中立的な第三者の意見を求めることがあります。

6. 遠隔地への出張修理を依頼される場合は、その出張に要する実費を申し受けます。

7. 本保証は日本国内においてのみ有効です。

<補修性能部品の保有期間>

弊社では防犯カメラの補修用性能部品の、製造打ち切り後 7 年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ただし、保有期間内であっても無くなる場合、また期間が終わっても保有している場合がありますので詳しくは修理窓口にお問い合わせください。

<修理不能の場合>

修理不能の場合は、代替器または後継機器によるユニット交換となる場合があります。

<メンテナンスについて>

防犯・監視用途でご使用の場合、定期的メンテナンス(点検・保守)をお勧め致します。

詳しくはお買い上げ販売店(又は工事店)にご確認ください。



本社 〒600-8086 京都市下京区松原通東洞院東入本燈籠町 22 番地 2

TEL 075-354-3372 FAX 075-354-3382

※製品の定格及びデザインは改良の為予告無く変更することがあります。